

■ TOEFL® テスト Writing 答案提出フォーム ■

会員の方は、項目名の背景がグレーになっている部分に入力してください。

会員番号	CA-1234-5678	氏名	増進 ハジメ
選択したトピック番号	186	解答所要時間	約 50 分
現在のTOEFLスコア ※該当する試験形式を明記	未受験	TOEFL受験予定時期	2015年5月
感想欄 * 課題に取り組んだ際の感想、手応えなどのコメントがあれば記入してください。			
<p>初めて提出します。</p> <p>自分の考えていることを英語で表現するというのが、こんなにも難しいとは思いませんでした。これまで英文を書くという機会があまりなかったので、とても苦勞してしまい、内容をうまくまとめられませんでした。これから一生懸命頑張っていきたいと思います。</p> <p>添削よろしくお願ひします。</p>			

添削者名	満点 ハナコ
ご挨拶	第1回目の課題提出、お疲れ様でした。受験本番に向けて、これから一緒に頑張っていきましょう。

メモ欄	* プレインストーミングの内容や、あなたの意見、論の根拠や具体例などを記入してください。
<p>(立場) 反対</p> <p>(理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外見で人を判断するべきではない→判断基準は性格、ものの考え方 ・「金持ち=幸せ」と判断するのは良くない。実は苦勞していて、幸せな生活を送っているとは限らない ・その人が持っている背景知識や言葉遣いなども大切な判断要素 	

解答欄

(*1)Although we can judge someone(→people)(*2) by outside appearance to some extent, we must not judge them by merely their figures(→looks)(*3). It keeps man(→us)(*4) from thinking about(+前) other's(→other people's / others')(*5) feeling, way of thinking, and their background.

For example, when you(→we)(*4) see someone(→people)(*2) having luxuries, you(→we)(*4) may think he or she(→they)(*2-1) gets happy life(→lead a happy life)(*6). (*7)Because of prejudice the rich did not have experience they can not stand. It is so(→too)(*8) soon to judge like this. They may be too busy to eat with their family. Contrary to it,(+コ) the poor may be happy in spite of their bad image. They may be glad to spend much time on their hobby.

Alghouth(→Although(ス)) man(→we)(*4) can not fully(*9) understand the other's(→other people's / others')(*5) feeling, we have to try to understand or admit them. Therefore it is

necessary to judge somebody(→people)(*2)by not one element but various one(→not one but various elements)(*10), such as behavior, words they use, knowledge, and so on. (*11)However of course we have to pay attention to our appearance. Because it is one of factors somebody judge us. For instance, if I wear dirty clothes, it is natural to be disliked or hesitated to get along.

(*12)Therefore I disagree with judging a person by external appearance.

指導欄

【添削指導の見方】

- ・解答欄に示された数字 (*1、*2…) と、この指導欄の数字の指導内容が対応しています。
- ・(*1)、(*2)…の数字は、文全体を指導対象とする場合はその文頭に、一部を指導対象とする場合はその部分の後ろに、下線とともに示されています。

【略号】

(+前) : 前置詞が必要 / (ス) : スペルミス / (+コ) : コンマが必要

(*1) : この第一文は **to some extent** と **merely** を足すと、前半部分と後半部分の意味のつながりがより明確になると思います (「外見である程度判断は可能かもしれないが、外見のみで判断してはならない」)。

(*2) : 文法的には **someone/somebody** を受ける代名詞は単数でなければなりません (もともと、くだけた英語などでは **they, them...** などのように複数で受けることもよく見られるようになってきましたが、それでも TOEFL のような **formal** な文体を要求される場面では、避けるべきでしょう)。とはいえ、(*2-1) のように **he or she** とすると (特に何度も繰り返す場合) 読みづらくなりますので、ここでは **someone/somebody** の代わりに **people** を用いるとすっきりします。

(*3) : **appearance** を繰り返し使うことを避けるために、**figure** という語を使用されたのですね。このようにパラフレーズを心がけることは非常に大切なことです。ただし、**appearance** は人の容貌のみならず、服装・髪型なども含むのに対し、**figure** は人の姿かたちのみしか指さず、より限定的です。服装・髪型なども意味に含みたいのであれば、**looks** や **outside** を使うとよいと思います。

(*4) : 最初の文で **we** を使っているので、**man, you** は **we, us** に変えて、統一させましょう。

(*5) : **other's** は単数形です。**other people's** か **others'** に変えましょう (そうすれば、同じ文の **their/them** という代名詞と数を一致させることにも可能になります)。

(中略)

(*12) : 非常に細かいことかもしれませんが、このトピックは、Do you agree or disagree with the following statement? “One should never judge～”ですね。したがって、増進さんの論理展開からすれば、I agree with the statement that one should never～という結論になるはずですが、よってここで disagree という言葉を使ってしまうと、読み手を少々混乱させる可能性が出てしまうように思います。トピックの英文に沿うか、あるいは agree, disagree という語を避け、Therefore, I believe that we must not judge～などとしたほうがよいでしょう。

- * 評価は ETS の基準をもとに、0～5 までの範囲で示しています。
 - * 実際の TOEFL スコアは 0.5 刻みの数値では示されません。
- この評価はおよその目安としてお考えください。

評価

2~2.5

添削指導者からのコメント

今回がエッセイに初挑戦で、内容をまとめるのにとっても苦労されたとのことですが、アカデミックライティングのルールをきちんと踏まえ、序論—本論—結論という構成のエッセイを作り上げていますね。また、本論ではご自分の主張をサポートする説得力のある論点を2つ打ち出すことにも成功しています。ですが、特に2つ目の論点（＝人の行動、言葉遣いなども大切な判断要素）については、具体例や詳細がなく、展開が不十分です。例えば、増進さんは、人のある行動を見て、「ああ、外見とは裏腹に、この人にはこういう面があったのだ」と発見し、驚いたことなどはありませんか。そのような個人的な経験をエッセイに盛り込むことができれば、自分の主張をさらに説得力あるものにすることができます。加えて、具体例を付け加えることで、語数を増やすこともできます。実は ETS は、

(以下続く)